

SASの危険性

★生活習慣病

無呼吸の間は肺での酸素の取り込みと炭酸ガスの排出が止まるため、血液の中の酸素不足や炭酸ガスの貯留が繰り返され、これがさまざまな臓器に対して悪影響を及ぼすことになり、高血圧や糖尿病、不整脈、虚血性心疾患、脳卒中といった合併症の原因となります。

★労災・交通事故（社会的影響）

睡眠時無呼吸症候群による昼間の眠気は、車の運転中、工場での作業中、会議中、商談中、いつでも時と場所を選ばず襲ってきます。そのため、作業効率が下がり、労災、交通事故を引き起こしやすくなります。悲しい事故を防ぐためにも、睡眠時無呼吸症候群に心当たりのある方は検査を受けて見ましょう。

終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）検査

★PSG検査とは

体に様々なセンサーを付けて、睡眠の状態（睡眠の深さや持続時間）と睡眠中の身体機能（呼吸や循環、体の動き）を測定します。

睡眠状態を見るために脳波・筋電図・眼電図などの電極を頭や目・首・足などに付け、呼吸状態を見るために口と鼻にセンサーを、お腹と胸にバンドを巻いて動きを見ます。心拍数や不整脈を見るために心電図も付けます（下図参照）。そして、血液中の酸素濃度を見るためにパルスオキシメーターと呼ばれるセンサーを指先に付けて、ベッドに入ってもらいます。

少し煩わしいと思いますが、痛みを伴うものではありません。リラックスしてやすんで下さい。

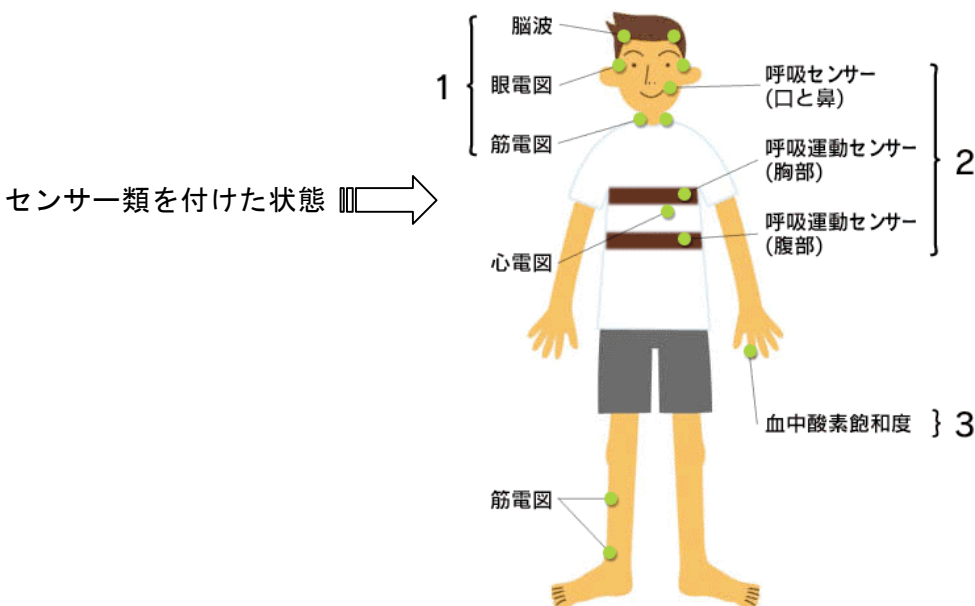
★睡眠中の検査なので、一泊入院が必要です。

平日の夕方7時に入院して、翌朝7～8時に退院していただけますので、お仕事を休む必要はありません。

入院費用は負担割合にもよりますが、3割負担で約25,000円程度です。

★結果は1週間程度で解析されますので、睡眠時無呼吸症候群であるかどうか診断結果を外来にて説明させていただきます。

睡眠時無呼吸症候群と診断された場合は、今後の治療方針についてご相談させていただきます。



※気になる方は別刷りの自己診断チェック表を試してみてください。